

「志 定まれば、気盛んなり」

校長 桐野 和之

江戸幕末の長州藩、現在の山口県に、吉田松陰という人物がいました。

目標に向かう自分の気持ちを志とし、その志を大切にしながら、日々実行していました。そして、「志定まれば、気盛んなり」という言葉を残しました。志とは、心に決めた目標に向けて進もうとする気持ち、決心のことです。したがって、この言葉の意味は、目標への気持ちが志としてはっきりすれば、自ずとやる気や意欲が生じるということです。



さらに松陰は、目標を決めるだけでは十分ではない、なぜ、その目標を定めるのか、その目標を達成する意味は何か、と目標への意味を自分で明らかにしたり、価値のあることだろうかと自分でしっかり考えたりすることが大切だと考えていたようです。

つまり、気持ちが入り強い意志があれば目標について志をもち、気持ちは高まり盛んになるというわけです。

人は何かを始めようとするときに、自分は何のために実行するのだろうか、ふと考えるものです。勉強やスポーツ、いろいろな体験活動など日常の学校生活にその場面はいくつもあります。そして、人が行動するには、行動した結果、何が生まれるのかとも考えます。この考え方は、今風に言えば、目標を定め、目標達成のための計画や実行方法をつくり、ワンステップずつ達成していくことになるマネジメントと言えます。

実は、松陰は、自分で実行するだけでなく、独自の学習方法を生み出しています。

松陰が教えていた松下村塾という塾がありました。そこに入塾してきた若者に、「抄録」という方法で、主体的な学びをさせていたと学んだ人が語っています。学ぶ若者の年齢に合わせて一冊の本を与える。よく読んで感銘したり、共感できたりした文章を自分で選んで、付箋という紙切れをその文章に貼る。次に自分で選んだその文章を、なぜこの文章にひかれたのかよく考えながら、その文章をそっくり写す。そして書き出した文章をもう一度よく読んで考えてみる。一冊終わると、松陰はまた一冊新しい本を与えて「抄録」をくり返させたとのこと。



日本の初代総理大臣である伊藤博文も十六歳くらいからこのような勉強をしたといわれます。何か素晴らしい考えを教えられたのではなく、自分自身で読書をし、なるほどというところを見つける。現在でも、読書でなるほどと思うことはたくさんあっても、その部分を書き出して、もう一度考えてみるということは少ないと思います。この抄録という方法では、自分の感じたことや、考えたことがより深められていくのです。明治の近代国家を切り拓いた若者たちは、自主的に考える抄録という読書方法により、読んだ人の本当の考えを主体的に自分の考えに深めていったと思われます。

松下村塾で学び、明治という新しい時代を切り拓いていった多くの人物たちは、この抄録という主体的な学びが自分をつくりあげてくれたと振り返っているようです。

皆さんも、なりたい自分を想像し、志をもって目標を抱いてみましょう。志が定まれば、必ず自分もやってみようと前向きな気持ちになり、やる気が盛んになると思います。

合唱コンクールを終えて

「集中した2週間」

『響かせましょう。貫井中のハーモニーを』

文化行事委員 中山信一

今年も合唱コンクールへの取組は、7月中旬に自由曲が決定してから進みだしました。スローガンも同時期に決定しました。伴奏者は夏休みから練習をしていきました。夏休みが明け、9月上旬に発表順が決定しました。並行して、3年生は修学旅行、2年生は職場体験学習、1年生は校外学習とそれぞれの行事を実施しました。その後、10月21日から合唱コンクール練習期間（準備期間）

に入りました。約2週間の集中した取組です。

合唱を創り上げていくことは、生徒たちにとっては簡単なことではありません。スポーツのように目に見える形で記録が伸びたり技術が向上したりということではありません。そのため、歌っている生徒自身は、自分の音程がっているのか、ハーモニーはどうかかなど客観的に捉えることができず、上達しているのかどうか分からないため、ストレスが溜まる状態になります。ところが、他クラスの歌を聴き合う学年リハーサルや、他学年同士で聴き合う縦割り練習で刺激を受けて徐々に合唱の形になっていきます。

練習は上級生になるにしたがって主体性が高まります。曲中の強弱、抑揚、ハーモニーをパートごとに作り上げ完成させていきます。その成果をステージで繰り広げていきます。全力で歌うからこそ感動を呼びます。表現、ハーモニー、迫力が凝縮されます。ステージ上での輝いた姿とステージを降りるときの達成感はいくつもの生徒が味わいました。そして聴いている人たちに感動を与えました。来年度以降も伝統として受け継がれることを願っています。

「雑感」

合唱コンクールが近づいてくると、朝の出勤途中で普段は会うことのない大勢の子どもたちに会うことができます。それは朝練に急いで駆けつけようとしている子どもたちです。足早に、「おはようございます」と言いながら、私の横を駆け抜けたら、通り過ぎていったりします。そうかあ「朝練」かと思えます。今年もいよいよその時期になってきたかと思ひながら学校を目指して歩きます。

私はなぜか、校舎内の遠くから聞こえてくる子どもたちの合唱の声を聞くことが好きです。どうしてか。自分では映画のワンシーンに出てくる、学校の情景が目には浮かぶからではないかと思ひます。少しキザな感じで、自分でも可笑しいと思ひながら、遠くから聞こえてくる子どもたちの声に耳をそばだてている自分が



いることに心の中で笑ってしまいます。

でも、この合唱コンクールの前というのは、子どもたちの活気のある動きが朝から放課後まで慌ただしく続きます。本当のところ、当日のコンクールではなく、保護者や地域の方々にはそのようすをぜひ見ていただきたいと思っています。当日の合唱を創り上げた結果ではなく、どのようにしてその結果に辿り着いたのか。どのようにしてクラスの危機的な状況乗り越え、クラスがまとまっていったのか。その結果ではなく、その過程を見てほしいと校長としては思っています。

合唱を通じて、クラスでいろいろなトラブルやハプニングがあります。時にはお互いに「何やってんだよ!」「おまえの言うことなんか聞けるか?」などの対立もあるかなと思います。でも、そこをグッと堪えて、「クラスのため」、そして「自分のため」とさまざまな葛藤と自問自答を繰り返しながら、子どもたちは合唱に取り組んでいると思います。人生の中で、そのような体験は、まさに「一期一会の体験」で、貴重な機会だと考えます。一生の中でもこのような体験はそうできるはずがないと考えるからこそ、意義のある取組だと思います。それは私の経験の中でも、それだけ一生懸命に合唱に取り組んだことがなく、取り組んでいる子どもたちのことを羨ましいと心の奥底で思っているからなのかもしれません。(合唱コンクールを直前にした時期に書き留めています。)



授業風景

3年生の英語の授業を覗きました。(11/1)
授業の出だしでは、実物投影機で映し出された絵を見ながら、誰が何をしているのか。英語でのペアワークをしながら互いに質問し合うようすが見られました。先生から出された課題は、違う3人の人と会話を重ねる課題でした。

生徒たちは与えられた課題の中で楽しく、違う3人を探し、英会話を続けながら授業を楽しんでいました。前時の復習を兼ねながらの学習の繰り返しでした。

次に新しい単元 Unit 5 - ① に入りました。本文の題名には、`Technology Meets Tradition` とありました。訳すと「技術と伝統の融合」という意味でしょうか。本文の内容には、ロボットが太鼓をたたき、伝統的なリズムが創られていること。また、そのロボットが奏でるリズムは偉大な音楽家のような。技術によって創り出された伝統的なリズムを感じてほしいとありました。単元の指導計画では、この本文を読みながら、各自が考えたことを基に英語でディスカッションをすることとなっています。

どのようなディスカッションになるのか。今から楽しみです。



部活動等の報告

卓球部 ◇第56回練馬区中学校生徒総合大会 卓球新人大会 11月3日(日)

男子シングルス 準優勝 2年 松原 大芽 3位 2年 橋本 伊央里 5位 2年 関口 恭央
9位 2年 前山 颯太・山根 侑大 17位 2年 山縣 碧
※上記6名は第62回東京都新人卓球大会に出場



男子柔道部

◇第7回東京都中学校新人体重別柔道選手権大会 10月20日(日)

男子60kg級 2位 2年 中村 漣音 66kg級 2位 2年 長谷川 瑛希
90kg級 5位 2年 安藤 泰基 90kg超級 5位 2年 本橋 章太郎

◇第65回東京都中学校新人柔道大会 10月20日(日) 第7位

◇第56回練馬区中学校生徒総合体育大会 10月19日(土)

男子55kg級 1位 2年 川中 大輝
66kg級 1位 2年 長谷川 瑛希 2位 2年 中村 漣音 3位 2年 ヲカンハト テムシ
81kg級 1位 1年 松尾 聖也 2位 1年 中出 春風
81kg超級 1位 2年 安藤 泰基 2位 2年 本橋 章太郎

男子団体戦 優勝



女子柔道部

◇第30回東京都中学校新人体重別女子柔道選手権大会 10月20日(日)

女子40kg級 3位 2年 木下 音々 5位 2年 飯島 瑛菜 44kg級 5位 1年 鎌田 緋奈

◇第56回練馬区中学校生徒総合体育大会 10月19日(土)

女子44kg級 1位 1年 鎌田 緋奈 2位 2年 木下 音々 3位 2年 木下 奈々・田中 さくら
52kg級 1位 1年 岡村 一花 2位 1年 朝日 千聡
57kg級 1位 2年 保戸塚 夏未

女子団体戦 優勝



男子バスケットボール部

◇練馬区中学校生徒総合大会バスケットボール新人大会 10月6日(日)・13日(日)・20日(日) ベスト8

1回戦 102-62(対豊玉二中) 2回戦 89-49(対桜学園) 3回戦 61-89(対中村中)

女子バスケットボール部

◇練馬区中学校生徒総合大会バスケットボール新人大会 10月6日(日)・13日(日)・20日(日) ベスト8

1回戦 58-40(対南ヶ丘中) 2回戦 55-33(対大泉学園中) 3回戦 27-33(対石西中)

バドミントン部

◇練馬区中学校生徒総合大会 バドミントン新人大会 10月13日(日)・20日(日)

<団体戦>女子 ベスト8 1回戦2-0(対桜学園) 2回戦0-2(対中村中) 順位決定戦0-2(対開四中)

<個人戦>男子ダブルス ベスト16 2年 鈴木・高橋組

女子シングルス ベスト16 2年 立道 李子



剣道部 ◇第3ブロック秋季剣道大会 10月13日(日) ベスト8

女子団体 1回戦3-1(対泉南中) 2回戦 3-1(対中野五中) 3回戦1-3(対開一・開三中(合同))
都大会出場決定戦 0-4(対上石中) 2-3(対富士見中)

野球部 ◇多摩武蔵杯 10月6日(日)・27日(日) グループ優勝

貫井・開進二中(合同)7-1(対青嵐中) 貫井・開進二中(合同)2-0(対昭和)

教科等の報告

家庭科 ◇「第13回 自分で作る朝ごはんコンクール」 練馬区中学校教育研究会食育部主催

<銀賞> 2年 高井 まつり ※練馬区役所1階アトリウムで展示 (11月22日~12月3日)

社会科 ◇『税の標語』 全国間税会総連合会 (東京国税局後援) 11月21日(木)表彰式

<練馬東優申告会会長賞> 3年 石原 明理 「公正な 社会づくりの 消費税」

◇「税についての作文」 練馬区収納課管理係 12月17日(火)表彰式

<東京納税貯蓄組合総連合会会長賞> 3年 篠 僚介 ※11/29迄春日町図書館・光が丘区民センターに掲示

<東京税理士会練馬東支部支部長賞> 3年 石田 優汰 ※11/29迄春日町図書館に掲示

<練馬東納税貯蓄組合連合会会長賞> 3年 會田 光彩